

日立ハイテク
HITACHI

SU8000 Series

世界を変えたFE技術。 半世紀に渡る 深化の最先端へ。

SU9000

「電界放出形電子顕微鏡の実用化」が
IEEEマイルストーンに認定されました。

「見えないものが見える」をキャッチフレーズに、信頼性と操作性で世界中のお客さまから愛用されてきた日立のFE-SEM^{*}。いまではFE-SEMといえば「日立」というほど世界中で認められています。その実績は、IEEEマイルストーン認定という形でここに結実。まさにFE電子顕微鏡なら、世界を変える答えが見えるといっても過言ではありません。

^{*} FE-SEM: Field Emission-Scanning Electron Microscope (電界放出形走査電子顕微鏡)



 **株式会社日立ハイテクノロジーズ**

本社 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号 電話 ダイヤルイン (03) 3504-6111
インターネットでも製品紹介しております。以下のURLへアクセスしてください。

URL <http://www.hitachi-hitec.com/science/>

北海道(札幌) (050) 3139-4994
関西(大阪) (050) 3139-4801

東北(仙台) (050) 3139-4985
九州(福岡) (050) 3139-4150

中部(名古屋) (050) 3139-4566

Encyclopedia, Genera of Freshwater Algae

淡水藻類

淡水産藻類属総覧

山岸 高旺 著 B5 判上製・総頁 1444 頁・定価 52500 円 (本体 50000 円)

本書は淡水における藻類、約 1500 属を収録した淡水藻類の属の総覧である。配列は淡水藻類を 12 分類群に分ける Bourrelly の分類系を採った。これに加え異名とされるもの、関連するものをさらに約 800 属所収する。60 年に及ぶ著者の淡水藻研究の集大成として、淡水藻類の全体像に迫る大著である。

本文は、それぞれの分類群の「細胞・藻体」「生殖・生活史」「分類・分類表」を示した後、それぞれの属の記載が中心となり、線画による基本的な図版を示しながら、属の分類基準とされる形態形質、生殖形質、生育状況を述べる。また類似属との関係や産状など特記事項も詳細に記す。学名総索引をはじめ、和文、欧文の事項索引、また属名のカナ読み索引を付した。

はじめに／凡例／淡水藻類 序 (01) 藍藻類 Cyanophyceae (01 付) 灰青藻類 Glaucophyceae (02) 紅藻類 Rhodophyceae (03) 黄色鞭毛藻類 Chrysophyceae (04) 黄緑色藻類 Xanthophyceae (05) 珪藻類 Bacillariophyceae (06) 褐色鞭毛藻類 Cryptophyceae (07) 渦鞭毛藻類 Dinophyceae (08) 緑色鞭毛藻類 Chloromonadophyceae (09) 褐藻類 Phaeophyceae (10) 緑虫藻類 Euglenophyceae (11) 緑藻類 Chlorophyceae (12) 車軸藻類 Charophyceae 学名総索引／属名カナ読み索引／和文事項索引／欧文事項索引

新日本海藻誌 ー日本産海藻類総覧ー

吉田 忠生 著 B5 判・総頁 1248 頁・定価 48300 円 (本体 46000 円)

本書は古典的になった岡村金太郎の歴史的大著「日本海藻誌」(1936) を全面的に書き直したものである。「日本海藻誌」刊行以後の約 60 年間の研究の進歩を要約し、多様な知見を盛り込んで、日本産として報告のある海藻 (緑藻、褐藻、紅藻) 約 1400 種について、形態的な特徴を現代の言葉で記載する。植物学・水産学の専門家のみならず、広く関係各方面に必携の書。

有用海藻誌 海藻の資源開発と利用に向けて

大野 正夫 編著 B5 判・総頁 592 頁・定価 21000 円 (本体 20000 円)

本書は海藻の生物学の解説にはじまり、応用の具体的事例を数多く紹介するとともに、今後期待される新分野、機能性成分についても多くの知見を盛り込む。生物学編、利用編、機能性成分編の 3 編 31 章から構成され、各分野で長く研究にかかわってきた多彩な執筆者が、それぞれの専門分野を詳述する。

小林弘珪藻図鑑 *H.Kobayasi's Atlas of Japanese Diatoms based on electron microscopy*

小林 弘・出井雅彦・真山茂樹・南雲 保・長田敬五 著 B5 判・596 頁・定価 35700 円 (本体 34000 円)

本書は、珪藻の分類学の成書として長く刊行が待たれていた待望の書であり、斯界の第一人者、故小林弘博士の名を冠するものである。プレートとその解説をはじめとし、特殊な用語が多く使われる珪藻の殻構造の解説を電顕写真や線画を添えて分かりやすく示した。分類体系には最新の研究成果を盛り込む。用語の英語、日本語、ラテン語の一覧表や、学名と和名の対照表などを付し読者の便宜を図った。

淡水珪藻生態図鑑 群集解析に基づく汚濁指数 DAIPo, pH 耐性能

渡辺仁治 編著 浅井一視・大塚泰介・辻 彰洋・伯耆晶子 著 B5 判・784 頁・定価 34650 円 (本体 33000 円)

日本のみならず世界各地から約 1500 のサンプルを採集、膨大なサンプルの生態情報を処理検討し、約 1000 種の珪藻についてその結果を分かり易くまとめる。生態情報の妥当性を期するため、すべてのサンプルを統一条件下で採集し、好清水か好汚濁か=きれいな水を好むのか、汚れた水を好むのか等を判断する環境指標としての珪藻群集の適性を、多くの図版で具体的に示す。

学 会 出 版 物

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局（庶務）までお申し込み下さい（価格は送料を含む）。

1. 「藻類」バックナンバー

各号、会員価格 1,750 円、非会員価格 3,000 円；30 巻 4 号（創立 30 周年記念増大号，1-30 巻索引付き）のみ会員価格 5,000 円、非会員価格 7,000 円；欠号 1-2 巻全号，4 巻 1，3 号，5 巻 1，2 号，6-9 巻全号。

2. 「藻類」索引

1-10 巻，会員価格 1,500 円，非会員価格 2,000 円；11-20 巻，会員価格 2,000 円，非会員価格 3,000 円；1-30 巻（創立 30 周年記念），会員価格 3,000 円，非会員価格 4,000 円。

3. 山田幸男先生追悼号

藻類 25 巻増補，1977，A5 判，xxviii + 418 頁。山田先生の遺影，経歴，業績一覧，追悼及び国内外の藻類学者より寄稿された論文 50 篇（英文 26 篇，和文 24 篇）を掲載。価格 7,000 円。

4. 日米科学セミナー記録

Contributions to the systematics of benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編，1972，B5 判，xiv + 280 頁，6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で，20 篇の研究報告（英文）を掲載。価格 4,000 円。

5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究

1977，B5 判，65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

6. Proceedings of Algae 2002

藻類 52 巻特別号，2004，A4 変形判，253 頁。平成 14 年 7 月につくば市で開催された第 26 回日本藻類学会大会・日本藻類学会 50 周年記念行事・第 3 回アジア太平洋藻類学フォーラム合同会議（Algae 2002）のプロシーディング集。43 篇の論文・レビューを掲載。価格 3,500 円（送料込み）。

日本藻類学会ホームページ <http://sourui.org/welcome.html>

藻類

第 61 巻第 2 号

2013 年 7 月 5 日印刷

2013 年 7 月 10 日発行

禁 転 載
不 許 複 製

© 2013 Japanese Society of Phycology
日 本 藻 類 学 会

Printed by Isebu Inc.

編集兼発行者

畠田 智

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1
お茶の水女子大学 理学部 生物学科
Tel 03-5978-5356
E-mail shimada.satoshi@ocha.ac.jp

印 刷 所

株式会社イセブ

〒305-0005 つくば市天久保 2-11-20
Tel 029-851-2515
Fax 029-852-8501

発 行 所

日本藻類学会

〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7
東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科
海洋環境学部門
Tel & Fax: 03-5463-0526

藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôrui)

第 61 巻 第 2 号 2013 年 7 月 10 日

目 次

藻類の変遷

丹羽一夫・早川雄一郎・神谷充伸：異なる塩濃度環境に生育するシオグサ類の遺伝的多様度と分布パターンの比較	74
駒澤一朗・安藤和人・滝尾健二・川辺勝俊・坂西芳彦：水中の光環境の季節変動が褐藻アントクメの純生産量に与える影響	81
大西舞・菊地則雄・岩崎貴也・河口莉子・鳶田智：絶滅危惧 I 類に指定されている紅藻アサクサノリの集団遺伝構造	87
中島広樹・田中敏博・吉満敏・寺田竜太：鹿児島県笠沙におけるホンダワラ属藻類 3 種の季節変化と藻場垂直分布の長期変化	97

特集 第 9 回 (2013 年) 日本藻類学会 研究奨励賞

講評	65
山口愛果：第 9 回日本藻類学会研究奨励賞を受賞して	65
山口愛果：有殻従属栄養性渦鞭毛藻の多様性とその系統的位置	67

特集 第 16 回 (2012 年) 日本藻類学会 論文賞

受賞者の皆様	72
神谷充伸：第 16 回日本藻類学会論文賞を受賞して	72
丹羽一夫・早川雄一郎・神谷充伸：異なる塩濃度環境に生育するシオグサ類の遺伝的多様度と分布パターンの比較	74

藻類学最前線

羽生田岳昭：大型藻のアレロパシーに関する最新研究	106
浜地貴志：群体性ボルボックス目緑藻において超並列配列解読がもたらす進化生物学の革新	109

岡崎恵視：西澤一俊先生を偲んで	113
-----------------	-----

日本藻類学会第 37 回大会開催記・参加記

御園生拓：山梨はいかがでしたか？	115
土井耕作：藻類学ワークショップ I「藻類イラスト講座」参加記	116
幡野恭子：第 37 回大会エクスカーションに参加して	117

英文誌 (Phycological Research) 60 巻 3・4 号和文要旨	119
--	-----

石川依久子：藻類の位置付けを重視した現地球生命体の区分	124
-----------------------------	-----

学会録事, 会員異動, 学会シンポジウム情報	125
------------------------	-----

2013 年度藻類談話会のお知らせ, 入会案内・自動会費納入	129
--------------------------------	-----

賛助会員 他	131
--------	-----

和文誌「藻類」投稿案内	132
-------------	-----

コラム【遊藻子】北山太樹：海藻標本採集者列伝	128
------------------------	-----

【藻の見遊山】北山太樹：「海藻 海の森のふしぎ」展	118
---------------------------	-----